



2021年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月10日

上場会社名 CDS株式会社

上場取引所 東名

コード番号 2169 URL <https://www.cds-japan.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝崎 雄太

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・財務部長 (氏名) 中嶋 國雄

TEL 052-587-5437

四半期報告書提出予定日 2021年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	5,666	4.5	593	14.2	801	31.8	530	17.5
2020年12月期第3四半期	5,932	26.8	520	54.6	608	46.5	451	37.9

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 534百万円 (21.4%) 2020年12月期第3四半期 440百万円 (39.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	77.78	
2020年12月期第3四半期	66.22	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第3四半期	8,444	6,778	80.3	993.88
2020年12月期	8,321	6,585	79.1	965.51

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 6,778百万円 2020年12月期 6,585百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		30.00		25.00	55.00
2021年12月期		25.00			
2021年12月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年12月期の中間配当金につきましては、創立40周年記念配当5円を含んでおります。

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,419	6.6	885	17.5	970	0.2	617	10.8	90.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期3Q	6,924,400 株	2020年12月期	6,924,400 株
期末自己株式数	2021年12月期3Q	104,214 株	2020年12月期	104,176 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期3Q	6,820,204 株	2020年12月期3Q	6,820,239 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大を受けて断続的に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されるなど、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

当社グループは、ドキュメンテーション事業、エンジニアリング事業、技術システム事業の3つの事業を展開し、自動車から各種情報家電、産業機器、FA機器、医療機器、教育関連、物流、食品、水産業、農業、観光、出版など幅広い業界へのサービスを提供しており、グループ各社の特色を組み合わせることで相互に補完し、取引先企業における製品開発から試験・解析・販売・保守やアフターサービスまでのビジネスプロセスの各段階へのサポートを実現可能とする「技術情報統合マネジメント企業」を目指しております。

近年では、IoT、AI、ロボットビジネスをはじめとする新規事業・新規領域の開拓を図っております。8月には連結子会社である株式会社バイナスが同社工場（愛知県稲沢市）内に「協働ロボットセクションセンター」を開設いたしました。当センターは電機・電子製品を幅広く取り扱う企業等との協業体制で運営しており、デモンストレーションを主としたものではなく、「実システムで協働ロボットを導入したい」という目的をもったお客さまに、検証・ロボットメーカー比較・評価を行い、協働ロボットに特化した実システムを実現するためのノウハウを提供する今までにないロボットセンターとなっております。

また、当社グループでは、前連結会計年度から引き続きテレワークの実施や社内でのソーシャル・ディスタンスの確保、TV会議の活用といった感染防止策を講じつつ事業活動を行い、同時に諸経費の圧縮にも努めてまいりました。当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

売上高5,666百万円（前年同期比4.5%減）
 営業利益593百万円（前年同期比14.2%増）
 経常利益801百万円（前年同期比31.8%増）
 親会社株主に帰属する四半期純利益530百万円（前年同期比17.5%増）

なお、経常利益の額が営業利益の額よりも大きくなっているのは、助成金収入を営業外収益に計上していることによります。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。）

（ドキュメンテーション事業）

新型コロナウイルス感染症の影響により、第2四半期までは前年同期比で減収となっておりますが、業界により温度差は見られるものの、徐々に受注状況に回復の兆しが伺えるようになり、売上高は2,075百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は557百万円（前年同期比21.5%増）の増収増益となりました。

（エンジニアリング事業）

新型コロナウイルス感染症の影響により民間の設備関係の受注は伸び悩みましたが、教育関係の受注が増加したことにより、売上高1,182百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益264百万円（前年同期比54.0%増）の増収増益となりました。

（技術システム事業）

主要な取引先である自動車業界において、生産台数の落ち込みを要因とするコスト削減の動きがあったことにより、売上高2,452百万円（前年同期比11.4%減）、営業利益236百万円（前年同期比30.6%減）の減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は8,444百万円であり、前連結会計年度末より123百万円増加しております。内訳は、流動資産が423百万円増加の5,036百万円、固定資産が300百万円減少の3,407百万円であります。

流動資産の変動の主な要因は、現金及び預金で592百万円、仕掛品で133百万円の増加があった一方、受取手形及び売掛金で326百万円の減少があったこと等であります。

また、固定資産の変動については、有形固定資産が328百万円（主に建物及び構築物193百万円、土地113百万円）、無形固定資産が33百万円（主にのれん）減少した一方で、投資その他の資産が60百万円（主にその他）増加したこと等であります。

(負債)

負債は前連結会計年度末より70百万円減少し、1,665百万円となりました。内訳は、流動負債が74百万円減少の1,654百万円、固定負債が4百万円増加の11百万円であります。

流動負債の変動の主な要因は、未払法人税等で53百万円、賞与引当金で210百万円増加した一方、支払手形及び買掛金で37百万円、短期借入金で120百万円、未払金で90百万円、未払消費税等で44百万円、その他で43百万円減少したこと等であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は6,778百万円であり、前連結会計年度末より193百万円増加しております。要因としては、主に利益剰余金が189百万円増加したためであり、これは親会社株主に帰属する四半期純利益530百万円の計上と配当金支払341百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

一般の新型コロナウイルス感染症の流行による影響が不透明であることから、2021年2月12日に公表いたしました連結業績予想を変更しておりませんが、当該感染症の流行が当社グループの業績に及ぼす影響については、今後も注視してまいります。業績予想の修正が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,816,672	2,409,422
受取手形及び売掛金	2,073,187	1,746,981
電子記録債権	217,233	222,700
商品及び製品	42,083	89,719
仕掛品	167,509	301,374
原材料及び貯蔵品	27,212	32,666
その他	272,913	237,839
貸倒引当金	△4,447	△4,402
流動資産合計	4,612,364	5,036,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,824,143	1,630,353
土地	1,059,065	945,794
その他(純額)	156,442	135,271
有形固定資産合計	3,039,651	2,711,419
無形固定資産		
のれん	162,845	140,639
その他	82,975	72,006
無形固定資産合計	245,820	212,645
投資その他の資産		
その他	435,911	486,699
貸倒引当金	△12,640	△2,850
投資その他の資産合計	423,271	483,849
固定資産合計	3,708,743	3,407,915
資産合計	8,321,108	8,444,217
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	244,695	206,937
短期借入金	470,000	350,000
未払金	308,095	217,186
未払法人税等	101,725	154,754
未払消費税等	142,599	97,688
賞与引当金	154,788	365,322
受注損失引当金	1,586	463
製品保証引当金	8,148	8,132
その他	297,011	253,555
流動負債合計	1,728,651	1,654,039
固定負債		
退職給付に係る負債	4,544	7,235
資産除去債務	2,888	4,443
固定負債合計	7,433	11,679
負債合計	1,736,084	1,665,718

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,327	940,327
資本剰余金	1,171,768	1,171,768
利益剰余金	4,508,929	4,698,454
自己株式	△25,626	△25,685
株主資本合計	6,595,398	6,784,864
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,854	△8,956
為替換算調整勘定	2,479	2,590
その他の包括利益累計額合計	△10,374	△6,365
純資産合計	6,585,024	6,778,498
負債純資産合計	8,321,108	8,444,217

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	5,932,953	5,666,042
売上原価	4,141,066	3,918,831
売上総利益	1,791,887	1,747,210
販売費及び一般管理費	1,271,856	1,153,548
営業利益	520,030	593,661
営業外収益		
受取利息	21	23
受取配当金	771	861
為替差益	921	—
確定拠出年金返還金	1,627	786
売電収入	1,984	1,896
助成金収入	112,973	209,778
その他	1,707	3,477
営業外収益合計	120,007	216,825
営業外費用		
支払利息	2,337	1,518
支払融資手数料	5,076	5,119
為替差損	—	775
減価償却費	1,738	1,533
解約違約金	18,856	—
その他	3,953	314
営業外費用合計	31,961	9,261
経常利益	608,076	801,225
特別利益		
固定資産売却益	79	7,942
助成金収入	18,483	—
移転補償金	109,703	—
特別利益合計	128,266	7,942
特別損失		
固定資産除却損	5,655	3,062
新型コロナウイルス感染症による損失	36,815	—
その他	3,735	—
特別損失合計	46,207	3,062
税金等調整前四半期純利益	690,135	806,106
法人税、住民税及び事業税	258,404	329,830
法人税等調整額	△19,940	△54,260
法人税等合計	238,464	275,570
四半期純利益	451,671	530,535
親会社株主に帰属する四半期純利益	451,671	530,535

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	451,671	530,535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,179	3,898
為替換算調整勘定	△5	110
その他の包括利益合計	△11,185	4,009
四半期包括利益	440,486	534,544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	440,486	534,544
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,021,781	1,165,391	2,745,780	5,932,953	—	5,932,953
セグメント間の内部売上高又は振替高	588	9,286	20,522	30,398	(30,398)	—
計	2,022,370	1,174,678	2,766,303	5,963,352	(30,398)	5,932,953
セグメント利益	458,748	171,551	341,031	971,330	(451,300)	520,030

(注) 1. セグメント利益調整額△451,300千円には、セグメント間取引消去6,977千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△458,277千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,074,660	1,168,767	2,422,614	5,666,042	—	5,666,042
セグメント間の内部売上高又は振替高	375	13,270	29,642	43,287	(43,287)	—
計	2,075,035	1,182,037	2,452,256	5,709,330	(43,287)	5,666,042
セグメント利益	557,549	264,151	236,605	1,058,305	(464,644)	593,661

(注) 1. セグメント利益調整額△464,644千円には、セグメント間取引消去7,265千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△471,909千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。